

# 地域おこし協力隊通信



丹波山村  
地域おこし協力隊

山にこだま、里に歌

vol.12

周囲を山林に囲まれた丹波山村。材木の調達から林道や登山道の整備に至るまで山仕事のプロフェッショナル Tree Lumber(ツリーランバー)に所属する地域おこし協力隊2名の仕事ぶり取材しました。

7月某日。盛夏にふさわしい陽気の中、竹籠に装備品を詰め、丹波小脇の登山道から仕事場である丹波天平を目指して登り始めました。天平まではおよそ2時間の道のり。比較的斜度が厳しく特色に富んだ山道は、荷物を担いでいなくてもキツイ登山になります。そんな道をチェーンソーを担いで登る彼らの姿は、間違いなく丹波で一番きつい通勤風景です。この時期はこんな通勤が週に2、3回あるそうです。



(しみず やまと)

清水 岳人

協力隊3年目です。自転車を  
利用して丹波山を元気にす  
る活動をしています。

現在は、ツリーランバーに所属し、林業から  
山林管理の基礎を学び、マウンテンバイクで  
丹波山を楽しめる道作りに活かしています。  
多くの人に丹波の自然の素晴らしさを体感し  
て欲しいです。



(いとう まゆ)

伊東 真由



今年の春にツリーランバーに移籍しま  
した。現在は、先輩方に教えて頂きな  
がら林業を学んでいます。

林業はただ木を切るのではなく、山の  
こと、特に植生への深い理解を必要と  
する仕事だと思っています。

通勤途中も木の葉を採取し、スクラッ  
プブックにし、森林インストラクター  
目指して勉強中です。丹波を訪れる人  
に山の豊かさを伝えたいです。



まつど たかし  
松戸 昂



はじめまして地域おこし協力隊インターンとして、まづは九月末までお世話になります松戸と申します。丹波山村では放課後等デイサービスなどでのこどもと関はった経験を活かしながら、たばつ子クラブの指導員、そして二学期からは学習支援員としても活動致します。元高校球児なので体を動かすことが大好きです！

三年後の協力隊終了後を見据え、十八歳までを対象としたフリースクールを作り村に貢献したいといふ目標もありますが、関係する皆様のご意見ご要望をあまねく頂戴し進めてるければとおもつてをります。

冒頭の歌は私の趣味である和歌（短歌）です。和歌との出会いは九年前。大学院時代に万葉集の勉強会に参加し、自分で詠むことでより理解出来ると教はりました。論文の指導教授が逝去し、その悲しみを五七五七七の三十一音で表現しやうとしたのが始まりです。



叙景歌といふ、五感で感じたありのままの自然を素直な心で言葉に変換し、そこに自分の気持ちを詠み込む作風に惹かれてゐます。丹波山村のやうな自然溢れる土地に佇むだけでおのづと歌が沸き起こるので毎日刺激的な日々が過ごせることにととても感謝してをります。創作を始めてちょうど十年になる年初に向けて自分の歌集制作にもゆつくり取り組んでをります。

一瞬一瞬に心を配り、瞬間瞬間を懸命に生きたい。そして自分の出来ることを一つひとつ全力で取り組むたい。さう思つてをります。皆様どうぞよろしくお願ひ致します。

